

タイトル

農林水産省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発」
公開セミナー「薬用作物の国内生産拡大の取り組み－漢方医学の現場から」

趣旨：

近年、健康意識の高まりから漢方薬を用いた治療に対する国民の関心が高まっており、漢方薬の使用量は徐々に増加する傾向にあります。漢方薬や漢方製剤の原料となる薬用植物の多くは、海外からの輸入に頼っているのが現状です。このため、国内での安定供給を求める声とともに、生産地では薬用作物の導入による地域活性化への関心が高まっています。このため、生薬メーカーなどの実需者や生産者や行政などが協力し、薬用作物の国内生産拡大へ向けた取り組みや技術開発研究が進められています。

本セミナーでは、実需者のニーズを反映した生薬原料の国産化、漢方診療の現場から見た国産生薬への可能性と期待、生薬を含む機能性植物の効率的生産技術について話題提供をいただくとともに、「薬用作物の国内生産拡大」をキーワードに議論します。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

開催日時：

平成29年11月20日（月） 13時～17時（12時30分 受付開始）

開催場所：

千葉大学環境健康フィールド科学センター シーズホール
つくばエクスプレス 柏の葉キャンパス駅下車 徒歩約5分
〒277-0882 千葉県柏市柏の葉 6-2-1

参加費： 無料

対象：

学生・一般の方々、都道府県行政・普及機関、農林水産省関係部局、生産者・生産者団体、民間企業、大学、公設試験研究機関、ほか

定員： 見学ツアー60名、講演会100名（定員になり次第、申し込みを締め切ります）

主催： 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
（西日本農業研究センター、次世代作物開発研究センター）

共催： 千葉大学環境健康フィールド科学センター

内容：

見学ツアー（希望者）13時～14時15分
千葉大学柏の葉診療所内・薬草園・苗生産施設を見学
開会挨拶 14時30分～14時35分
講演 14時35分～16時40分
「生薬原料（都甘草及び信州大黃）の国内栽培の取り組み」

武田コンシューマーヘルスケア（株）製品技術研究センター主席部員

吉富 史郎

「漢方臨床の現場から国産生薬に期待すること」

千葉大学 柏の葉診療所長（漢方内科）

勝野 達郎

「健康機能性植物生産が目指すところ」

千葉大学環境健康フィールド科学センター 准教授

渡辺 均

「委託プロジェクト「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術開発」の紹介

農研機構 西日本農業研究センター（研究代表者）

川嶋 浩樹

総合討論 16時40分～17時

閉会 17時

参加申し込み

平成 29 年 11 月 10 日（金）までに、別添参加申込書、または同内容を F A X、メールのいずれかにより、以下の申込先へお送りください。

申込先・問い合わせ先

農研機構

西日本農業研究センター傾斜地園芸研究領域

川嶋浩樹・矢野孝喜

次世代作物開発研究センター畑作物研究領域

大潟直樹

メール：src22046@ml.affrc.go.jp

ファックス：0877-63-1683 電話：0877-63-8125

※農研機構は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネーム（通称）です。